



千葉労動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)

電話 (鉄電) 千葉2935・2939番
(公) 043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2000.12.19 No. 5241

総武支部第14回定期大会開催!

二〇〇一年を強制配転粉砕勝利の年に

総武支部は、第十四回定期大会を十二月九日、DC会館で開催し全員が出席する中で二〇〇一年の闘う方針を決定した。

大会は、本部から中野委員長、繁沢副委員長、田中書記長が参加し討論と交流を深めた。

総武支部は強制配転者を中心に構成する支部であり、仲間が運転職場に戻り数が減ると闘いが前進したことになるという“特殊”な支部である。言うまでもなく全員が営業分科に所属しており、過日十二月五日の営業分科会第四回委員会を開催し、吉野支部長が分科会長に選出されるなど二〇〇一年を強制配転粉砕の正念場の年に位置づけ、闘う決意を固めた。

支部を代表し、吉野支部長は



「今日は組合員が勤務など色々

とやりくりをつけ全員が出席してくれた。この団結をさらに固め、闘う労働運動の構築の一翼

を担おう。特に強制配転粉砕を全力でたたかう」と挨拶され、

中野委員長は日頃の奮闘に敬意を表したあと「分割・民営化時代から苦節十数年みんなで頑張ってきた。こうした中からDC

会館の建設など組織的にも財政的にも新たな基盤を確立してきた。このうえで21世紀にむけて

大いにはばたく時。次世代の動力千葉の創造・発展にむけて闘おう」と力強く訴えられた。

その後、「経過と闘いの基調」について石井副委員長が提起し、

会計報告、財政方針について岡安書記長が提起し、高野元支部長(今年退職OB会会員)が駆け付け激励をうけた。

その後、質疑応答を行なった。一人作業における現金輸送の問題

● 休憩時間について

● 運賃誤表示の問題について

等ざつくばらんな話し合いの後、方針を採択した。

大会後、交流と親睦を深めるため忘年会をおこない終了した。

〔新たに選出された三役〕

役職氏名

支部長 吉野幸成 営業指導係

副支部長 石井謙次 営業主任
書記長 岡安正人 営業指導係



暫定滑走路着工一周年弾劾

三里塚現地闘争が闘われる

三里塚反対同盟は、12月3日

暫定滑走路粉砕闘争と反対同盟の忘年会を併せて行なった。

公団は、一年前の12月3日暫定滑走路工事を開始した。政府

・公団は農業を破壊し、農民を叩き出すための軒先工事を強行してきた。しかし、これらの攻撃は完全に破産している。

反対同盟は二年間決戦を打ちだし、この攻撃と対決し勝利してきた。12月3日はこの一年間の勝利を確認する場として行なわれた。

市東さん宅で開かれた集会で北原事務局長が反対同盟を代表して「一年間の闘いは勝利した。二〇〇一年の勝利へ闘いに

たち上ろう」と挨拶した。その後、動力千葉、関西の東灘区住民の会代表山本善偉さん、葉山岳夫顧問弁護士が連帯のあいさつを行なった。

集会后は、権力・機動隊の規制を粉砕して東峰部落を一回りするデモ行進を行なった。

デモ終了後は、再び市東さん宅に集まり参加者全員で反対同盟忘年会を開催した。酒を飲みながらのおのの参加者が歌や決意を披露した。また、反対同盟は来年1月8日に旗開きを開催することも明らかにした。